



滝田医院ニュース

022-0001 岩手県大船渡市末崎町字細浦77番地 滝田医院
電話0192(29)3108 内科・循環器科・消化器科・呼吸器科・リハビリテーション科
日本循環器学会認定循環器専門医

第6号

発行日 2005(平成17)年4月4日

花粉症 我慢しないで治しましょう!

目次:

花粉症への対応 1面

個人情報保護法 1面

インフルエンザ 2面

循環器学会 報告 2面

生活習慣病 講演会 2面

日本丸ステンドグラス



スギ花粉症の季節となりました。テレビや新聞で報道しているように、今年は花粉の飛散量が多いようです。街を歩いてもマスクをしている人がどんどん増えてきています。いまや花粉症は国民病となった感があります。とくに気仙地方はスギの飛散量は県内でもトップクラスです。実際この辺の山を見てもスギの花粉が飛んでいる様が観察されます。鼻水、鼻づまりや眼のかゆみが長く続いたり、外にいるほうがそれらの症状が悪化するようなら、それは風邪ではなく花粉症の可能性が強いと思われます。

市販のクスリも各種出ていますが、医師が処方する医薬品のほうがよりよく効きます。お悩みの方は億劫がらずに病院を受診し、医師に相談したほうがよいでしょう。

眼科や耳鼻科を個別に受診するのも結構

ですが、内科でも花粉症の治療は可能です。花粉症の薬は点鼻薬や点眼薬など局所に使うもののほかに、内服薬(のみぐすり)があります。はじめは点眼薬や点鼻薬も補助的に使いますが、治療の目標は内服薬だけで症状を抑えることです。また内服薬は効き方に個人差があります。他の人には効いてもあなたには効かない場合もあります。そのときは根気よく、医師と相談しながら自分に合った薬を見つけるのが大事です。そうすれば来年以降は同じ薬で乗り切れる可能性が高くなります。花粉症の薬というと「眠くなるだけであまり効かない。」というイメージをお持ちの方も多いと思いますが、最近は「眠くならずによく効く」薬が多く発売されています。快適な生活をすごすために医師に相談しましょう。

おかげさまで開業2周年

この4月1日にて開業2周年を迎えました。これもひとえに地域の皆様方のご支援のおかげです。医師をはじめ職員一同、安心で質の高い医療を提供すべく、今まで以上に努力したいと存じます。お気づきの点がありましたら、細かいことでも結構ですので、何なりとお申し出下さい。

3月19日には三陸道が基石海岸インターまで開通しました。当院にも三陸町方面から通ってくださる患者さんもうらやまします。従来よりも幾分か時間短縮効果はあると思います。来年にはインターを降りて45号線を横切って細浦方面に下りる道路もできる予定です。そうなればアクセスはますますよくなるでしょう。

個人情報保護法って?

4月1日に「個人情報保護法」が施行されたのはご存知ですか。インターネット社会となり、一人ひとりの情報(名前、生年月日など)が瞬時に全国や世界に伝わる時代となりました。このため個人情報を扱う事業所にこの法律が適用されることになりました。われわれ医療に携わる者は明治時代以来、守秘義務を課せられています。したがって業務上知りえた患者さんの情報を、正当な目的以外で外部に漏らすことは一切ありませんのでご安心下さい。なお、この法律の施行に当たり、当院における個人情報の使用目的を皆さんにお知らせしています。受付の向側のボードに貼ったポスターをご覧ください。

5月の連休中は

カレンダーどおり

診療します。

お間違いの

ないようにお越し下さい。

今シーズンのインフルエンザについて

今シーズンのインフルエンザは流行しはじめたのが2月中旬と例年に比べて遅かったようです。さらに4月の声を聞くとまったくみられなくなるのが普通ですが、今年は4月に入っても一日2, 3人ずつインフルエンザ患者さんが来院しています。予防注射をしてもかかった患者さんは、保育園児やお年寄りを中心にみられましたが、比較的軽い症状で済んだ場合が多いようです。次の流行シーズンに

備えて、今年11月か12月に予防注射をうけておくことをお勧めします。実施の方法や料金については10月中から院内に掲示したいと思いますのでよろしくお願ひします。「備えあれば憂いなし」です。また、お年寄りやお子さんばかりでなく、働き盛りの方にも接種をお勧めします。一回の接種で予防効果は高いようです。これらの方々も接種は11月からになります。



横浜みなとみらいの朝焼け

第69回日本循環器学会 開催

去る3月19日から21日まで、パシフィコ横浜にて、第69回日本循環器学会学術集会が開催されました。当院の医師も出席したため、お彼岸は3連休となってしまいました。皆さんには大変ご迷惑をおかけしました。循環器専門医の資格を維持するために必要なことですので、ご了承下さい。

この学会は年々規模が大きくなり、テーマも多岐に及んでいます。今回は主に、ブルガダ症候群(心電図異常で突然死をきたす病気です。)と心筋虚血(心筋梗塞や狭心症)の非侵襲的診断について、勉強してきました。医者でも花粉症対策のマスクをしている人が多いのにもびっくりしました。

シーパルで講演しました。(生活習慣病予防講演会)

去る1月26日、大船渡市主催の生活習慣病予防講演会が盛町のシーパルで開かれました。

当院の医師も「虚血性心疾患(狭心症や心筋梗塞)の予防について」と題して講演させていただきました。寒い中にも拘らず、150人ほど集まっていた皆さんには熱気を感じました。

このなかで、コレステロールが高い血液の患者さんが如何にして動脈硬化を起こすかについては特にアニメを使って解説しました。

また、心臓の検査で使うカテーテル(心臓に入る細長い管)の実物を実際に見ていただきました。

今回のような市主催の講演会は、開業以来3回目です。日頃の診療ではなかなかお話できないことも、時間をとってお話できるので、医師にとっても有意義でした。このような機会を与えてくださる大船渡市と気仙医師会に感謝しています。